

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 4 月 25 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	水越 楓

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
新潟県妙高市
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
笹ヶ峰実習 (積雪期)
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 3 月 25 日 ~ 平成 27 年 3 月 28 日 (4 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
杉山茂先生
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>PWS のカリキュラムとして、京大笹ヶ峰ヒュッテにて笹ヶ峰実習 (積雪期) を行った。初日は、杉野沢から雪上車に乗りヒュッテへと向かった。途中通行できない箇所は全員で雪かきをし、進み、夕方ごろヒュッテに到着した。二日目は班に分かれ、私の所属チームは学生がわかんじきを履いて散策を行った。午後は休暇村近辺まで歩き、夕方にヒュッテへと戻った。三日目の午前には装備を交換し、スキーにて散策を行った。午後は樋口さんに教わり、イグルーづくりを行った。四日目はヒュッテの片づけをし、再び雪上車にて杉野沢まで下った。</p> <p>《わかんじき》</p> <p>わかんじきは、スノーブーツに直接紐で固定して装着した。前日に雪が降ったため、新雪の層が厚く、歩くと足が深く入ってしまうため、体力を必要とした。そこで列になって歩き、後ろの人は前の人の足跡を利用して進むことで、体力を温存することが出来た。</p> <p>スキーでは登れないような急斜面を軽々とまではいかないものの、初心者でも登ることが出来た (写真 4 参照)。小回りが利き、持ち歩くのにもスキーに比べて邪魔にならないため、登山に用いるには便利な装備であると感じた。</p> <p>《スキー》</p> <p>スキーはシールを裏に装着することで、滑らずに登ることが出来るようになる。うまく登れば傾斜も、登ることが出来た。着脱も慣れれば素早く行うことが出来、わかんじきと比べ前に進むための力は少なく容易に長距離移動が行えた。スキー場と比べるとかなりなだらかな斜面をスキーにて滑走した。スキー場と比べて所々に木が生えており、その周辺が落ち窪んでいたり、雪質が異なっていたりするため、かなり注意しながら滑ることとなった。前日と比べて、雪が凍っていたのでガリガリさせながら滑っていた。</p>

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

### 《そのほか》

ヒュッテに到着し、景色の違いに驚いた。高い木々は先だけを雪から覗かせており（写真1）、ヒュッテの一階分以上にまで雪が到達していた。

二日間を通して、多くの動物の足跡を発見することが出来た。また、二日目には遠目ながらも走り去るウサギを発見した。夏と比べると動物の痕跡が残っていることから、多くの動物が生息しているということを実感した。（写真5参照）

極地研からサポートに来てくださった樋口和生さんによる雪崩のレクチャーを受けた。プロスキーヤーと雪崩の映像に驚くとともに、雪崩がいかに恐ろしいものかを肌で感じた。自然に発生するものではなく、人が入ることによって引き起こされる誘発雪崩が多いということは初めて知った。こういった知識を持たずに山スキーや、冬山登山に行くことの危険性は大きく、知識の周知が大切である。

イグルーとはエスキモーの住まいのことを指し、雪のブロックで作った家である。のこぎりとシャベルで雪のブロックを切り出して、それをうまく積み上げていくことで作り上げた。掘ると、ザラメ状の雪の層があり、晴れていたため、それらがたちまち溶けていき水が滴る家になってしまった。二時間程度で人ひとり寝転がれるようなイグルーを作り上げることが出来た。その後ぜんざいを食べたり、雪を溶かして沸かしたお湯でラーメンを食べたりと皆思い思いの時間を過ごした。

初日に少し雪が降っていたものの、他は雲一つない位の晴天となり、暑い位であった。天候に恵まれたおかげで、あまり不自由なくすべての実習を終えることが出来た。雪山に初めて行った私にとってそれは大変ありがたいことで、無事に多くの経験を積むことが出来た。

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真1：ヒュッテからの眺め



写真2：雪の重みによって折れた枝

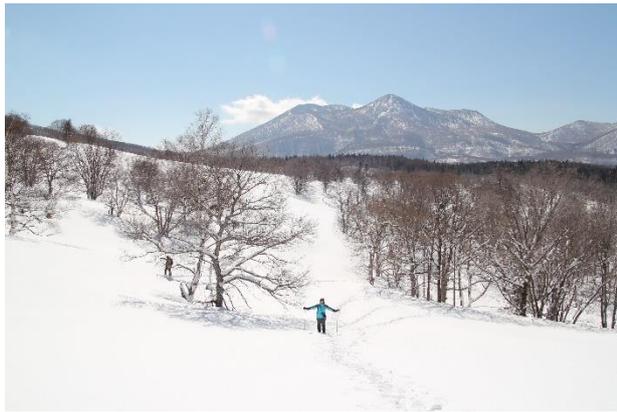


写真3：わかんじき実習中の様子



写真4：急斜面をわかんじきで登る



写真5：動物の足跡



写真6：星空

6. その他 (特記事項など)

実習をサポートしてくださった皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。